

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称		平成26年度 基本計画策定委員会(第3回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成 26 年 8 月 29 日(金) 15 時 00 分～15 時 50 分
開催場所		第2委員会室(本庁舎4階)
議題		(1) 豊島区の現況について (2) 社会経済動向について (3) 現状と課題について(基本計画成果指標等)
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	副区長(委員長)、副区長(副委員長)、教育長(副委員長)、政策経営部長・特命政策担当部長・総務部長・施設管理部長・新庁舎担当部長・区民部長・文化商工部長・清掃環境部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・都市整備部長(欠席・代理あり)・地域まちづくり担当部長(欠席・代理あり)・建築住宅担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育総務部長・選挙管理委員会事務局長・監査委員事務局長・区議会事務局長(欠席)
	幹事	財政課長・行政経営課長・区長室長・施設計画課長
	説明者	企画課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

審 議 経 過

(1) 豊島区の現況について

《案件の説明》

説明者： 資料を基に、豊島区政の近年の動向、基本構想と基本計画の体系と内容等について説明。

基本構想の策定時から現在までの本区の主要な取組みについて、年度別・地域づくりの方向別に取りまとめを行なった。様々な大事な動きがあったが、セーフコミュニティの国際認証取得や地域区民ひろばの展開、自治の推進に関する基本条例の制定と改正などが基本構想の点検にあたって重要な部分であるかなと思っている。

また、基本構想と基本計画の体系の関連性について、区のめざすべき将来像を基本計画でどう具体化しようとしているのかを整理した。これらを用いて基本構想審議会で現況等を説明していきたい。

《主な意見と質疑》

委員長： 今後の10年間をどう見込んでいるのか、この先の世の中の動きをどう読んでいるのが大事である。

説明者： 今後 10 年間をどう見るかは、将来人口推計といった前提が揃わないと難しい面もある。次回以降に示せればと考えている。

委員長： 平成26年度までの取組みや計画の体系等は整理であり、漏れがなければ問題はない。各委員においては資料をもう一度確認し、修正等あれば事務局へ連絡して欲しい。

(2) 社会経済動向について

《案件の説明》

説明者： 資料を基に、国内の主な社会経済動向について説明。

これからの豊島区のまちづくりの課題を考えるうえで、重要になるとと思われる国内の社会経済動向について整理を行なった。少子高齢化・人口減少社会、国際化の進展、高度情報化社会への対応、環境問題への対応と持続可能な社会の構築、暮らしの安全・安心、地方分権、協働のまちづくりなど、審議会での議論のヒントになればと考えている。

《主な意見と質疑》

委員長： 国内の動向の大きな柱の中で、漏れているものはないか。

副委員長： 暮らしの安全・安心のところで、3. 11を経験して日本人の防災意識や危機管理体制など大きな変動があった。防災という面からもう少し記述を膨らませたほうがよい。

説明者： 豊島区に引き付けると首都直下ということが大きいですが、広がりを持たせて整理したい。

委員長： 地方分権なども重要な課題である。

副委員長： 3. 11の話は帰宅困難者の関係でいうと池袋もあることから入れ込んで欲しい。協働ということでは、官民の役割分担も大きく変わってきている。経済、財政面についても盛り込んだほうが良い。

委員長： 意見を踏まえてもう少し中身を加え、修正したものを提出することとしたい。

(3)現状と課題について(基本計画成果指標等)**《案件の説明》**

説明者: 後期基本計画の成果指標の進捗状況を取りまとめたものである。26の政策があつて指標全体は67指標である。審議会においては、現在の計画がどうなっているかを見る上での参考資料として出していきたい。

《主な意見と質疑》

- 委員:** 成果指標の進捗状況は基本計画の話であり、今、審議することによってどんな意味があるのか。先ほどの近年の動向のところでも事実だけ並べるのではなく、これまでのストーリーみたいなものがある、現在豊島区でこんなことが課題になっているという流れを大局的に示すような資料が必要だと思う。基本構想を議論していくうえで、その思想を引き継いでいるのは基本計画であり、現状と課題の記述のところである。そこを活かせたら良いと思う。
- 説明者:** 大変重要な指摘をいただいた。ご意見を活かしてまいりたい。
- 委員長:** そういう視点で、もう一度見直して欲しい。
- 事務局:** 現在、政策評価委員会での審議の関係もあり、政策全体の評価を各部局で取りまとめている。このあとの整理の仕方としては、それを基本構想審議会の審議の中でも現行基本構想の総括という形で活用できればと考えている。
- 委員長:** どういうふうに進めていくのか。
- 説明者:** 先程の委員の指摘は重要であるが、次回の審議会までには難しい。それ以降、もう少し踏み込んだものを出していきたい。
- 委員長:** ほかにあるか。
- 説明者:** 前回審議をお願いした区民ワークショップの募集通知を付けている。アンケート調査については大幅に見直しを進めている。基本構想、基本計画を考えていくにあたって、重要な部分で区民の意識を把握できるように努めている。
- 委員長:** 本日の委員会は、以上で終了する。

会議の結果	審議会への提出資料については、必要な修正を加えたうえ提出する。
-------	---------------------------------

提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区政の近年の動向 ・基本構想と基本計画の体系と内容 ・平成 25 年 3 月における「豊島区自治の推進に関する基本条例」の一部改正の内容 ・国内の主な社会経済動向 ・豊島区基本計画(2011-2015)における成果指標の進捗状況 ・協働のまちづくりに関する区民意識調査結果における「区政全般への要望」の経年比較
----------	---